



報道発表資料

2011年10月6日

フォーティネットジャパン株式会社

米国時間 2011年9月29日に発表されたプレスリリースの抄訳です。

FortiMail が Virus Bulletin 誌のアンチスパムアワードを 14 期連続で受賞

メッセージングセキュリティ アプライアンスである FortiMail が、
スパム検知率が向上したことで誤検知率が低かったことが評価され、VBSpan 認定を獲得

ネットワークセキュリティのリーディングプロバイダーであり、UTM (Unified Threat Management : 統合脅威管理) ソリューションの世界的リーダーである、フォーティネット (Fortinet, Inc. 本社 : 米国カリフォルニア州サンニール NASDAQ : FTNT) は本日、FortiMail メッセージングセキュリティ アプライアンスが Virus Bulletin 誌の VBSpan アワード認定を 14 期連続で受賞したことを発表しました。

Virus Bulletin 誌のスタッフは、スパム検知率と誤検知率について、FortiMail を含む、複数の国から提供された 22 機種のアナチスパム製品をテストしました。本レポートでは、FortiMail が 14 期連続で同賞を受賞したことだけでなく、FortiMail に送信された 4,300 通のスパムメールの中で誤検知がたったの 1 通だけであり、かつスパム検知率が向上したことを特記しています。

フォーティネットのプロダクトマーケティングのバイスプレジデントである Patrick Bedwell は次のように述べています。「FortiMail が高スパム検知率と低誤検知率において高いスコアを続けて達成し Virus Bulletin 誌に認定されたことはとても光栄です。FortiMail は、ユーザの多くが戦っている悪意あるメッセージング攻撃に対する対策の鍵を握るコンポーネントの 1 つです。ユーザは、ネットワークのセキュリティを守るために、FortiMail の正確性ときめ細かいポリシー強化を拠り所としています。」

FortiMail のメッセージングセキュリティ アプライアンス ファミリーは、小中規模企業から大企業、キャリア、サービスプロバイダに至るまであらゆる規模の企業や組織に対して、

実証済みの強力なメッセージングセキュリティを実現します。サービスプロバイダなどの非常に厳しい要求にも耐えうるメッセージシステムとして専用開発された FortiMail アプライアンスは、スパム、マルウェアやその他メッセージに伴う脅威からネットワークを保護してきた、フォーティネットの長年にわたる経験が活かされています。

フォーティネットについて (www.fortinet.com)

フォーティネットは (NASDAQ: FTNT) ネットワーク セキュリティ アプライアンスのワールドワイド プロバイダであり、統合脅威管理 (UTM) のマーケット リーダーでもあります。フォーティネットの製品とサブスクリプション サービスは、ダイナミックなセキュリティ脅威に対抗する広範で高性能な統合プロテクション機能を提供しつつ、IT セキュリティ インフラの簡易化も実現します。フォーティネットの顧客には、米フォーチュン誌が選出する 2010 Fortune Global 100 の大部分を含む世界中の大規模企業、サービスプロバイダ、行政機関が名を連ねています。フォーティネットのフラグシップである FortiGate 製品は ASIC による高速なパフォーマンスを誇り、アプリケーションやネットワークの脅威から保護する多層セキュリティ機能が統合されています。フォーティネットの幅広い製品ラインは UTM にとどまらず、エンドポイントからデータベースやアプリケーションなどの境界やコアに至る大規模エンタープライズのセキュリティを保護します。フォーティネットは本社をカリフォルニア州サニーベールに構え、世界中にオフィスを展開しています。

Copyright© 2011 Fortinet, Inc. All rights reserved. ® と ™ のマークはいずれも、Fortinet, Inc.、その子会社および関連団体の米国における登録商標および未登録の商標であることを示します。フォーティネットの商標には、Fortinet、FortiGate、FortiGuard、FortiManager、FortiMail、FortiClient、FortiCare、FortiAnalyzer、FortiReporter、FortiOS、FortiASIC、FortiWiFi、FortiSwitch、FortiVoIP、FortiBIOS、FortiLog、FortiResponse、FortiCarrier、FortiScan、FortiAP、FortiDB、FortiWeb などがありますが、これだけにとどまりません。その他の商標は、各所有者に帰属します。フォーティネットは、サードパーティに帰する本書での声明や認可について中立的な立場で実証してはならず、またフォーティネットはそのような声明を保証することはありません。本ニュースリリースには、不確実性や仮説を伴う前向きな内容が含まれている場合があります。不確実性が現実になったり、あるいは仮定が正しくないことが判明したりした場合、そうした前向きな声明や仮説で表明または暗示された内容とは実質的に結果が異なる場合があります。史実に関する声明を除くすべての声明は、前向きな声明であると判断されるべきものです。フォーティネットは、どの前向きな声明についても改正する義務を負わず、またこれらの前向きな声明を改正する方針もありません。